

令和4年1月20日

県政記者クラブ各位

福島県原子力安全対策課

福島第一原子力発電所の現地調査結果について

本日、陸側遮水壁凍結管の損傷について、現地調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせします。なお、写真の提供が必要な場合は、担当者まで御連絡願います。

記

1 日時

令和4年1月20日(木) 10:30～12:00

2 場所

福島第一原子力発電所 陸側遮水壁（凍結管損傷箇所）

3 調査者（福島県）

原子力安全対策課檜葉町駐在 2名

4 説明者（東京電力）

福島第一原子力発電所建設・運用・保守センター 土木部 上田部長 他3名

5 調査結果

1月16日に発生した陸側遮水壁におけるブライン(冷媒)が漏えいした事案について、東京電力によるブライン漏えい箇所調査や復旧作業が行われていることから、東京電力からの聞き取りや現場の状況を確認しました。

聞き取りでは、耐圧試験により漏えいが確認された凍結管は、ブライン送りヘッダー管と埋設凍結管との継手部が歪んでいた（今後、詳細な原因調査を実施予定）との説明を受けました。

なお、今回の凍結管損傷による凍土壁の温度変化はないことを確認しております。

また、同様の事象が発生しないよう、他の凍結管の点検強化など水平展開を図るよう求めました。

現場確認では、漏えいのあった凍結管継手部の交換作業が進められていることを確認しました。



東京電力から聞き取りする駐在職員



損傷した凍結管の交換作業を確認する駐在職員（手前）



損傷した凍結管の交換作業状況（遠景）



損傷した凍結管の交換作業状況（近景）



交換用凍結管継手部